

■ 本書について

- ◎本書は、過去6年12回分（平成30年10月～令和6年3月）の日本自動車整備振興会連合会（以下、日整連）・登録試験に出題された問題及びその出題ジャンルをもとに、○×または記述式問題を作成し、小テスト形式にしたものです。
- ◎問題の最後には、[R3.3]等の記述があります。これは試験で出題された年月を示し、[R3.3]であれば令和3年3月に実施された登録試験を元に作成した問題となります。また、[H31.3改]と「改」がついているものは、改訂された教科書の記載内容との問題のすり合わせや出題形式の変更など、編集部で手を加えている問題を示し、[追加]は編集部で教科書から作成した問題を示します。
- ◎本書は、下記の日整連発行の教科書別にジャンル分けしています。また、法令問題に関しては、弊社発行の『自動車整備士の法令教本 令和6年（2024年）版』（3月発刊）をご覧ください。

教科書名	発行年
二級ガソリン自動車 エンジン編	平成27年3月初版
基礎自動車工学	平成30年3月初版
二級自動車シャシ 二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車 シャシ編	平成29年3月初版

- ◎各章の項目の順序は、各教科書の内容の順序（総論⇒エンジン本体…）となっています。授業の進行具合に合わせてご使用いただけます。
- ◎1ページ表面のみ（裏面は白紙）の小テスト形式です。また、B5サイズよりも若干小さく作成しているため、B5のノートからはみ出ることなく貼り付けることができます。
- ◎弊社発行の自動車整備士シリーズと併せて本書をご使用ください。

◆本書の正誤等について◆

本書の発刊にあたり、記載内容には十分注意を払っておりますが、誤り等が発覚した際は、弊社ホームページに訂正情報を掲載しています。お手数ですが、ご不明な場合は一度ご確認をお願い致します。

https://www.kouronpub.com/book_correction.html



◆本書籍の内容に関するお問い合わせ◆

書籍の内容につきましては、必要事項を明記の上、下記までお問い合わせ下さい。

メール 	PCから [inquiry@kouronpub.com] 記入必須事項 ・お客様の氏名とフリガナ ・書籍名 ・該当ページ数 ・問合せ内容	問合せフォーム QR
	FAX 	03-3837-5740 記入必須事項 ・お客様の氏名とフリガナ ・FAX番号（FAXの場合のみ） ・書籍名 ・該当ページ数 ・問合せ内容

- ※お電話によるお問合せは、受け付けておりません。
- ※回答までにお時間がかかる場合がございます。ご了承ください。
- ※必要事項に記載漏れがある場合、問合せにお答えできない場合がございます。ご注意ください。
- ※お問い合わせは、**書籍の内容に限り**ます。試験の詳細、実施時期等についてはお答えできかねます。

■目次

■解答一覧

■基礎工学	解答	1
■2級ガソリン	解答	1
■2級シャシ	解答	3
■法令	解答	4

■基礎工学

■第3章 自動車の材料 [1]	1
鉄鋼：鋳鉄／鋼	
■第3章 自動車の材料 [2]	2
鉄鋼：熱処理	
非金属：合成樹脂と複合材	
非金属：塗料	
■第4章 自動車の機械要素	3
ねじ	
ベアリング	
ギヤ	
■第6章 基礎的な原理・法則 [1]	4
ばね定数	
力のモーメント／（モーメントの釣り合い）	
■第6章 基礎的な原理・法則 [2]	5
力のモーメント（重心）／軸重の計算（※2級シャシ）	
■第6章 基礎的な原理・法則 [3]	6
速度と加速度	
圧力	
■第6章 基礎的な原理・法則 [4]	7
電気回路①	
■第6章 基礎的な原理・法則 [5]	8
電気回路②	
■第6章 基礎的な原理・法則 [6]	9
電気回路③	
電磁力／電磁誘導	
■第7章 自動車の諸元	10
駆動力	

■2級ガソリン

■第1章 総論 [1]	11
バルブ・タイミング①	
■第1章 総論 [2]	12
バルブ・タイミング②	

■第1章 総論 [3]	13
性能	
■第1章 総論 [4]	14
排出ガス	
■第2章 エンジン本体 [1]	15
シリンダ・ヘッド	
■第2章 エンジン本体 [2]	16
ピストン及びピストン・リング①	
■第2章 エンジン本体 [3]	17
ピストン及びピストン・リング②	
■第2章 エンジン本体 [4]	18
コンロッド及びコンロッド・ベアリング	
■第2章 エンジン本体 [5]	19
クランクシャフト及びジャーナル・ベアリング	
バルンサ機構	
バルブ機構：可変バルブ機構	
■第2章 エンジン本体 [6]	20
バルブ機構：可変バルブ・タイミング機構	
■第3章 潤滑装置／第4章 冷却装置	21
潤滑装置	
概要／電動ファン／電動ウォーター・ポンプ	
■第5章 燃料装置	22
電子制御式 LPG 燃料噴射装置	
■第6章 吸排気装置	23
過給機	
■第7章 電気装置 [1]	24
半導体①	
■第7章 電気装置 [2]	25
半導体②	
■第7章 電気装置 [3]	26
バッテリー：概要／起電力／特性曲線①	
バッテリー：特性曲線②	
■第7章 電気装置 [4]	27
バッテリー：容量	
バッテリー：始動性能	
バッテリー：電解液の比重と温度	
■第7章 電気装置 [5]	28
始動装置：スタータの特性	

第8章 電子制御装置 [3]

氏名

正解

/13

■点火制御装置②（2級ガソリンP129～134）

【1】 気筒別独立点火方式のイグナイタ（イグニッション・コイル一体型）に関する記述として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. 通電時間制御は、エンジン回転速度が低くなるに連れて、トランジスタが ON する時期（一次電流が流れ始めるとき）を早めている。[R5.10/R4.3/R2.10/H31.3]
- ☐ 2. 一次電流の通電・遮断にはトランジスタが用いられている。[追加]
- ☐ 3. 過電流保護回路は、一次電流が規定値以上流れないように、ドライブ回路を介してトランジスタに流れるベース電流を制御している。[追加]
- ☐ 4. 一次電流が遮断されると二次コイルに高電圧が発生し、スパーク・プラグに火花が飛ぶ。[追加]

1	2	3	4

■電子制御式スロットル装置（2級ガソリンP134・135）

【2】 電子制御式スロットル装置に関する記述として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. スロットル・モータには、応答性がよく消費電力の少ないDCモータが使用されている。
[R2.10/H31.3]
- ☐ 2. スロットル・ポジション・センサは、スロットル・バルブ・シャフトの同軸上に取り付けられ、アクセル・ペダルの踏み込み角度を検出している。[R5.10/R4.3/H31.3]
- ☐ 3. スロットル・ポジション・センサは、スロットル・バルブ・シャフトの同軸上に取り付けられ、スロットル・バルブの開度を検出している。[R4.3/R2.10]
- ☐ 4. 通常モードのとき、スロットル・バルブ開度とアクセル・ペダルの踏み込み角度は比例する。
[H31.3]
- ☐ 5. スノー・モードのときは、滑りやすい路面でも良好な操縦性を確保するため、アクセル・ペダルを踏み込んでも通常モードに比べてスロットル・バルブが大きく開かないように制御している。[R2.10]
- ☐ 6. アイドル回転速度制御は、ISCV（アイドル・スピード・コントロール・バルブ）で行っている。
[R2.10/H31.3改]
- ☐ 7. 電子制御式スロットル・バルブは、一つのスロットル・バルブで、通常のスロットル・バルブの機能とISCV（アイドル・スピード・コントロール・バルブ）の機能を併せもっている。[R5.10/R4.3]
- ☐ 8. トラクション・コントロール制御は、ブレーキECUなどからの信号によりスロットル・バルブを開閉し、エンジン出力を制御して走行安定性を確保している。[R5.10/R4.3]
- ☐ 9. スロットル・バルブの開度制御が通常モードのときは、スロットル・バルブ開度とアクセル・ペダルの踏み込み角度は比例しない。[R5.10/R4.3]

1	2	3	4	5	6	7	8	9

第9章 燃料及び潤滑剤

氏名

正解

/15

■燃料：ガソリンの基材／ガソリンの性質（2級ガソリン P137・138）

【1】 ガソリンに関する記述として、次の（ ）に当てはまる適切な語句を記入しなさい。

- ☐ 1. オクタン価は、ガソリン・エンジンの燃料の（ ）を示す数値である。[R5.10]

1

【2】 ガソリンに関する記述として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. オクタン価とは、そのガソリンに含まれるイソオクタンの混合割合をいう。[R5.10/R1.10]
☐ 2. オクタン価とは、ガソリンの揮発性を示す数値である。[R5.10]
☐ 3. オクタン価とは、直留ガソリンと分解ガソリンの混合割合をいう。[R5.10]
☐ 4. オクタン価は、ガソリン・エンジンの燃料のアンチノック性を示す数値である。[R6.3/R5.10/R3.3]
☐ 5. オクタン価を高めることで、高圧縮比でもノッキングが発生しにくくなる。[R1.10]
☐ 6. 直留ガソリンは、原油から直接蒸留して得られるガソリンで、オクタン価が高く自動車用としては最も適している。[R1.10]
☐ 7. 直留ガソリンは、原油から直接蒸留して得られるガソリンで、オクタン価（65～70）が低く、このままでは、自動車用の燃料としては不適当である。[R6.3/R3.3]
☐ 8. 改質ガソリンとは、高オクタン価のガソリンを低オクタン価のガソリンに転換したものである。
[R6.3/R3.3/R1.10]
☐ 9. 分解ガソリンは、灯油及び軽油などを、触媒を用いて化学変化を起こさせて熱分解した後、再蒸留してオクタン価（90～95）を高めている。[R6.3/R3.3]

1	2	3	4	5	6	7	8	9

■潤滑剤：エンジン・オイルの添加剤（2級ガソリン P139）

【3】 次の文章はエンジン・オイルの添加剤について述べたものである。それぞれの（ ）に当てはまる添加剤名を記入しなさい。

- ☐ 1. オイルの金属表面に対するなじみを良くし、強固な油膜を張らせる添加剤…（ ）剤。
[R2.10/H31.3]
☐ 2. 温度変化に対して適正な粘度を保って潤滑を完全にし、寒冷時のエンジンの始動性を良好にする添加剤…（ ）剤。[R2.10/H31.3]
☐ 3. エンジン・オイルが冷却された際、オイルに含まれるろう（ワックス）分が結晶するのを抑えて、オイルの流動性を保つ作用がある添加剤…（ ）剤。[R2.10/H31.3]
☐ 4. エンジン・オイル中に混入する炭素やスラッジを油中に遊離させる作用がある添加剤…（ ）剤。
[H31.3]
☐ 5. 燃料生成物及びオイルの劣化物のために、シリンダ壁面やその他の摩擦部の腐食を防止するための添加剤…（ ）剤。[R2.10]

1	
3	
5	

2	
4	

第11章 故障原因探究

氏名

正解

/18

■不具合現象とその原因探究（2級ガソリンP155～162）

【1】電子制御装置を採用したガソリン・エンジンについて、エンジンの始動困難（スタータは正常）という不具合が発生した。この場合に推定できる故障箇所として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. ノック・センサ系統の不良。[R2.10]
- ☐ 2. フューエル・フィルタ、フューエル・パイプの詰まり及び亀裂。[R2.10]
- ☐ 3. シリンダ、ピストン及びピストン・リングの摩耗又は損傷。[R2.10]
- ☐ 4. 吸気系統からのエアの吸い込み。[R2.10]

1	2	3	4

【2】エンジンがオーバーヒートする推定原因として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. エンジンの冷却水の不足。[追加]
- ☐ 2. エンジン・オイルの不足又は循環不足。[追加]
- ☐ 3. EGRバルブの不良。[追加]

1	2	3

【3】ノッキングが起こる推定原因として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. 燃焼室にカーボンが堆積している。[追加]
- ☐ 2. 適正なオクタン価の燃料に対してオクタン価の低い燃料を使用している。[追加]
- ☐ 3. 適正なスパーク・プラグに対して熱価の高いプラグを使用している。[追加]
- ☐ 4. 点火時期が進み過ぎている。[追加]

1	2	3	4

【4】エンジン・オイルの消費量が多くなる推定原因として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. 潤滑装置のオイル・パンの取り付けの緩み。[R1.10]
- ☐ 2. エンジン本体のバルブ・タイミングの狂い。[R1.10]
- ☐ 3. エンジン本体のバルブ・ステム及びバルブ・ガイドの摩耗。[R1.10]
- ☐ 4. 附属装置のPCVバルブの不良。[R3.3/R1.10]
- ☐ 5. エンジン本体のバルブ・スプリングの衰損。[R3.3]
- ☐ 6. エンジン本体のピストン・リングの摩耗。[R3.3]
- ☐ 7. 潤滑装置のオイル・パイプの接続の緩み。[R3.3]

1	2	3	4	5	6	7

第1章 総論／第2章 動力伝達装置 [1]

氏名

正解

/11

■ 勾配抵抗 (2級シャシ P11・12)

【1】 勾配抵抗に関する記述として、次の文章の () に当てはまる適切な語句を記入しなさい。

☒ 1. 勾配抵抗は、(イ) や (ロ) によって変化する。[追加]

1	イ:	ロ:
---	----	----

■ MT のクラッチ (2級シャシ P17～19)

【2】 マニュアル・トランスミッションのクラッチの伝達トルク容量に関する記述として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

☒ 1. クラッチ・スプリングによる圧着力、クラッチ・フェーシングの摩擦係数、摩擦面の有効半径、摩擦面の面積に関係する。[R3.10/R2.3/H30.10]☒ 2. エンジンのトルクに比べて過大であると、クラッチ・フェーシングの摩耗量が急増しやすい。

[R3.10/R2.3]

☒ 3. クラッチの伝達トルク容量が、エンジンのトルクに比べて過小であると、クラッチ・フェーシングの摩耗量が急増しやすい。[R5.3/H30.10]☒ 4. エンジンのトルクに比べて過小であると、クラッチの操作が難しく、接続が急になりがちでエンストしやすい。[R3.10/R2.3]☒ 5. クラッチの伝達トルク容量が、エンジンのトルクに比べて過大であると、クラッチの操作が難しく、接続が急になりがちでエンストしやすい。[H30.10]☒ 6. 一般にエンジンの最大トルクの1.2～2.5倍に設定されており、ジーゼル車よりもガソリン車の方が余裕係数は大きい。[R3.10/R2.3/H30.10]☒ 7. 一般にクラッチの伝達トルク容量は、エンジンの最大トルクの1.2倍～2.5倍に設定されており、トラックやバスよりも乗用車の方が、ジーゼル車よりもガソリン車の方が余裕係数は大きい。[R5.3]

1	2	3	4	5	6	7

【3】 ダイヤフラム・スプリングを用いたクラッチ・スプリングに関する次の文章の () に当てはまる語句を記入しなさい。

☒ 1. ダイヤフラム・スプリングを用いたクラッチ・スプリングは、コイル・スプリングを用いたクラッチ・スプリングと比較して、クラッチ・フェーシングの摩耗によるスプリング力の変化が (イ)、プレッシャ・プレートに作用するスプリング力が (ロ)。[R5.3改]

1	イ:	ロ:
---	----	----

第2章 動力伝達装置 [2]

氏名

正解

/14

■ AT：トルク・コンバータ（2級シャシ P20～22）

【1】 トルク・コンバータの性能に関する記述として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. 速度比は、タービン軸の回転速度にポンプ軸の回転速度を乗じて求めることができる。

[R5.10/R4.3/R2.10]

- ☐ 2. 速度比は、タービン軸の回転速度をポンプ軸の回転速度で除して求める。[R2.3/H30.10]

- ☐ 3. トルク比は、タービン軸トルクをポンプ軸トルクで除して求めることができる。[R5.3/R3.10]

- ☐ 4. トルク比は、タービン・ランナが停止（速度比がゼロ）しているときが最大である。[R5.10/R4.3]

- ☐ 5. 速度比がゼロのときの伝達効率は100%である。[R5.10/R4.3/R2.10/R2.3/H30.10]

- ☐ 6. トルク比は、速度比がゼロのとき最大である。[R5.3/R3.10]

- ☐ 7. カップリング・レンジでは、トルクの増大作用は行われない。[追加]

- ☐ 8. カップリング・レンジにおけるトルク比は、2.0～2.5である。[R5.3/R3.10/R2.10/R2.3/H30.10]

- ☐ 9. 速度比がゼロからクラッチ・ポイントまでの間をコンバータ・レンジという。[R5.3/R3.10]

- ☐ 10. ステータが空転し始める点をクラッチ・ポイントという。[R2.10]

- ☐ 11. クラッチ・ポイントの速度比は、一般に0.8～0.9程度である。[追加]

- ☐ 12. コンバータ・レンジでは、全ての範囲において速度比に比例して伝達効率が上昇する。

[R5.10/R4.3/R2.3/H30.10]

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

【2】 前進4段のロックアップ機構付き電子制御式 AT のトルク・コンバータに関する次の文章の（ ）に当てはまる語句を記入しなさい。

- ☐ 1. 速度比がゼロのときのトルク比は（イ）となる。また、（ロ）でのトルク比は「1」となる。

[R4.10/R3.3/H31.3]

1	イ：	ロ：
---	----	----

第2章 動力伝達装置 [3]

氏名

正解

/10

■ AT：変速機構（2級シャシ P23～27）

【1】 プラネタリ・ギヤ・ユニット式 AT の構成部品に関する記述として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☒ 1. フォワード・クラッチは、2種類のプレート（ドライブ・プレートとドリブン・プレート）が数枚交互に組み付けられており、ピストンに油圧が作用すると両プレートが分離している。

[R5.10/R4.3]

- ☒ 2. ハイ・クラッチは、2種類のプレート（ドライブ・プレートとドリブン・プレート）が数枚交互に組み付けられており、ピストンに油圧が作用すると両プレートが密着している。

[R5.3/R2.10/H31.3]

- ☒ 3. バンド・ブレーキ機構は、リバース・クラッチ・ドラムを介してフロント・インターナル・ギヤを固定する。[R5.10/R5.3/R4.3/R2.10/H31.3]

- ☒ 4. バンド・ブレーキ機構は、ブレーキ・バンド、ディッシュ・プレートなどで構成されている。

[R5.10/R5.3/R4.3/R2.10/H31.3]

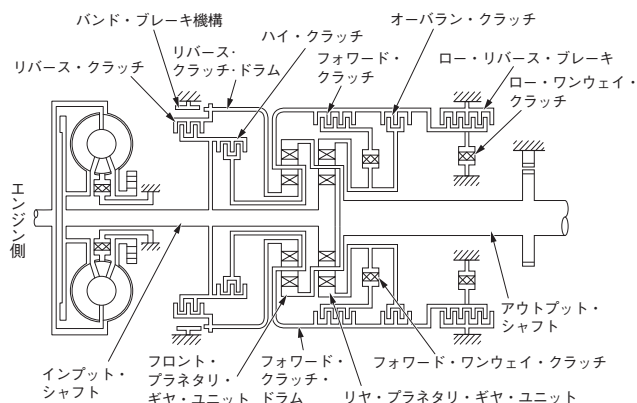
- ☒ 5. スプラグ式のワンウェイ・クラッチは、インナ・レースとアウト・レースとの間に設けたローラの働きによって、一定の回転方向にだけ動力が伝えられる。[R5.3/R2.10/H31.3]

- ☒ 6. スプラグ式のワンウェイ・クラッチは、インナ・レースとアウト・レースとの間に設けたスプラグの働きによって、一定の回転方向にだけ動力が伝えられる。[R5.10/R4.3]

1	2	3	4	5	6

■ AT：プラネタリ・ギヤ・ユニット / 変速の仕組み（2級シャシ P37）

【2】 図に示す前進4段のロックアップ機構付き電子制御式 AT のプラネタリ・ギヤ・ユニットの各段における「クラッチ」と「ブレーキ」の締結の仕方に関する記述として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。



- ☒ 1. 1速時は、リバース・クラッチ、ロー・リバース・ブレーキが締結される。[H30.10]
- ☒ 2. 2速時は、フォワード・クラッチ、バンド・ブレーキが締結される。[H30.10]
- ☒ 3. 3速時は、ハイ・クラッチ、ロー・リバース・ブレーキが締結される。[H30.10]
- ☒ 4. 4速時は、オーバラン・クラッチ、バンド・ブレーキが締結される。[H30.10]

1	2	3	4

道路運送車両の保安基準【2】

氏名

正解

/18

■ 灯火関係①（法令教本 P217～265）

【1】「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、灯火に関する次の文章の（ ）に当てはまる適切な語句を記入しなさい。

- ☐ 1. 車幅が1.7m、最高速度が100km/hの小型四輪自動車の走行用前照灯の数は、（イ）個又は（ロ）個であること。[追加]
- ☐ 2. 前部霧灯は、同時に（ ）個以上点灯しないように取り付けられていること。[R5.10/R4.3]
- ☐ 3. 前部霧灯は、（イ）色又は（ロ）色であり、その全てが同一であること。[R5.10/R4.3]
- ☐ 4. 前部霧灯の照明部の最外縁は、自動車の最外側から（ ）mm以内となるように取り付けられていること。[R5.10改/R4.3]
- ☐ 5. 前部霧灯の点灯操作状態を（ ）に表示する装置を備えること。[R5.10/R4.3]
- ☐ 6. 番号灯は、夜間後方（ ）mの距離から自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は車両番号標の数字等の表示を確認できるものであること。[R5.3/R2.10/H31.3]
- ☐ 7. 番号灯の灯光の色は、（ ）色であること。[R5.3改]
- ☐ 8. 車幅が1.69m、最高速度が100km/hの小型四輪自動車の走行用前照灯は、そのすべてを照射したときには、夜間にその前方（イ）mの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有するものであり、かつ、その走行用前照灯の数は、（ロ）個であること。また、灯光の色は、（ハ）色であり、最高光度の合計は、（ニ）cdを超えないこと。[R5.3改/R3.3改/R2.3改/R1.10改]
- ☐ 9. 尾灯は、夜間にその後方（ ）mの距離から点灯を確認できるものであり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。[R6.3改/R4.10/H30.10]
- ☐ 10. 制動灯は、昼間にその後方（ ）mの距離から点灯を確認できるものであり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。[R2.10/H31.3]
- ☐ 11. 制動灯の灯光の色は、（ ）色であること。[R2.10/H31.3]

1	イ：	個	ロ：	個	2	個	3	イ：	色	ロ：	色
4	mm	5		6	m	7	色				
8	イ：	m	ロ：	個	ハ：	色	ニ：	cd	9	m	
10	m	11	色								

【2】「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、最高速度が100km/hの四輪小型自動車の番号灯の基準に関する記述として、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しなさい。

- ☐ 1. 番号灯は、灯器が損傷し、又はレンズ面が著しく汚損しているものでないこと。[R5.3]
- ☐ 2. 番号灯は、点滅しないものであること。[R5.3]

1	2

道路運送車両の保安基準 [3]

氏名

正解

/15

■ 灯火関係② (法令教本 P217 ~ 265)

【1】「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、灯火等に関する次の文章の () に当てはまる適切な語句を記入しなさい。

- ☐ 1. 後退灯は、昼間にその後方 () m の距離から点灯を確認できるものであること。[R4.10改/R2.10改]
- ☐ 2. 後退灯の灯光の色は、() 色であること。[R4.10改/R2.10/H31.3]
- ☐ 3. 小型四輪自動車の後退灯の数は、(イ) 個又は(ロ) 個であること。[R4.10/R2.10改/H31.3]
- ☐ 4. 後退灯は、その照明部の上縁の高さが地上(イ) m 以下、下縁の高さが(ロ) m 以上となるように取り付けられなければならない。[R4.10改/R2.10/H31.3]
- ☐ 5. 方向指示器は、毎分(イ) 回以上(ロ) 回以下の一定の周期で点滅するものであること。
[R2.3改/H30.10]
- ☐ 6. 後部反射器(被牽引自動車に備えるものを除く。)の反射部は、() 以外の形状であること。[R6.3]
- ☐ 7. 後部反射器による反射光の色は、() 色であること。[R6.3]
- ☐ 8. 後部反射器は、反射器が損傷し、又は反射面が著しく() しているものでないこと。[R6.3]

1		m	2		色	3	イ:		個	ロ:		個			
4	イ:		m	ロ:		m	5	イ:		回	ロ:		回	6	
7		色	8												

【2】「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、最高速度が100km/hの小型四輪自動車の方向指示器に関する次の文章の(イ)と(ロ)に当てはまる適切な語句を記入しなさい。

- ☐ 1 自動車には、方向指示器を自動車の車両中心線上の前方及び後方(イ)の距離から照明部が見通すことのできる位置に少なくとも左右1個ずつ備えること。また、方向指示器の灯光の色は、(ロ)であること。[R4.3]

1	イ:		m	ロ:		色
---	----	--	---	----	--	---

【3】「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、最高速度が100km/hである四輪小型自動車の前照灯等の基準に関する記述として、適切な語句を記入しなさい。

- ☐ 1. 走行用前照灯の数は、() であること。[R3.10]

1	
---	--

■ 非常信号用具 (法令教本 P288・289)

【4】「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、非常信号用具の基準に関する次の文章の(イ)～(ロ)に当てはまる適切な語句を記入しなさい。

- ☐ 1. 非常信号用具は、夜間(イ) m の距離から確認できる(ロ)色の灯光を発するものであること。

1	イ:		m	ロ:		色
---	----	--	---	----	--	---

[R3.10/R3.3/H30.10]